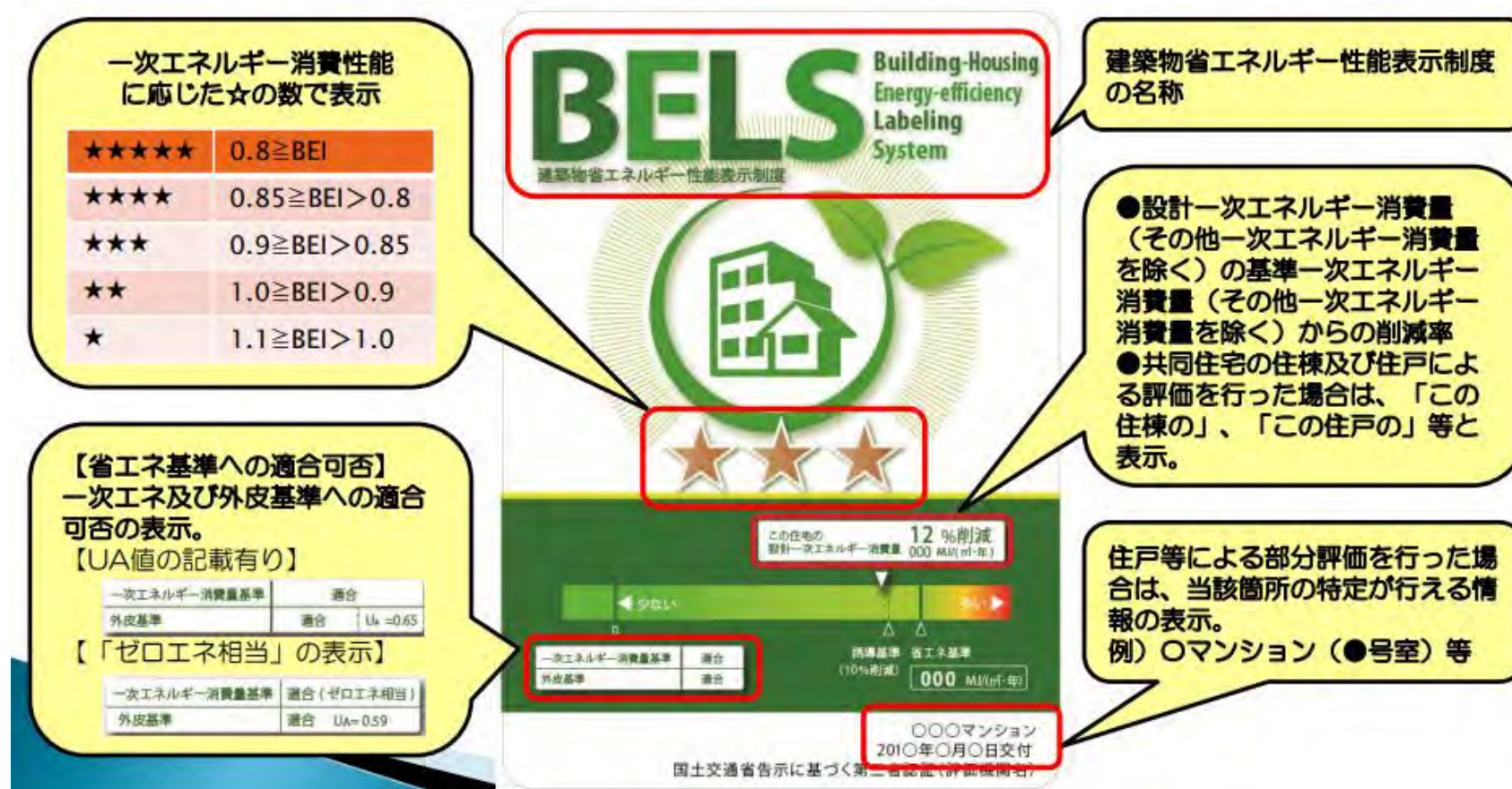


(参考) 工業分野での表示例

建築分野：BELSによる住宅の省エネ性能表示

BELS：Building-housing Energy-efficiency Labeling System

- 国土交通省が平成25年10月「非住宅建築物に係る省エネルギー性能のための評価ガイドライン（2013）」に基づき、平成26年4月より開始された制度。
- 建築物省エネ法に則し「外皮断熱性能」「一次エネルギー消費性能」を評価し、表示。



出典）一般社団法人住宅性能評価・表示協会資料より引用
<https://www.mlit.go.jp/common/001122759.pdf>（2022.7.22閲覧）

(参考) 統一省エネラベル (家電等における省エネ機能の表示：2021省エネラベルガイドブック)

評価基準

- ・★2を基準とし、省エネ性能の高い順に41段階で評価（多段階評価）
- ・0.1きざみの41段階（5.0～1.0）の評価点を設け、詳しい性能表示

新ラベル 統一省エネラベルの例（テレビ）

省エネ性能

★★★★☆ 3.8

省エネ基準達成率
75%
年間消費電力量
49 kWh/年

メーカー名
機種名

この製品を1年間(1日に5.1時間)使用した場合の目安電気料金

1,320 円

目安電気料金は、年間消費電力量に平均的な電気料金単価27円/kWhを乗じて算出しており、使用時間の外にも使用条件や電力会社等により異なります。使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

TLV-R0308

①多段階評価点
市場における製品の省エネ性能の高い順に5.0～1.0までの41段階で表示（多段階評価点）。★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。

★★★★★ 5.0	★★★★☆ 2.5～2.9
★★★★☆ 4.5～4.9	★★★★☆ 2.0～2.4
★★★★☆ 4.0～4.4	★★★★☆ 1.5～1.9
★★★★☆ 3.5～3.9	★★★★☆ 1.0～1.4
★★★★☆ 3.0～3.4	

②省エネルギーラベル
省エネ性能マーク、省エネ基準達成率、エネルギー消費効率、目標年度を表示。（詳細は07ページ参照）

③年間の目安電気料金
1年間使用した場合の経済性を、年間の目安電気料金で表示。

エコキュートは、東京電力EP及び関西電力の料金プラン等を基に1kWhあたり23円（税込）と算出（寒冷地仕様は、北海道電力及び東北電力料金プラン等を基に1kWhあたり20円（税込））。

テレビを含む上記以外の機器は、電力・ガス取引監視等委員会「電力取引報」を活用し、直近3年分の平均値（小数点第1位を四捨五入）から、1kWhあたり27円（税込）として算出。

ミニラベル※

ミニラベルは多段階評価点を表示します。

※ Webサイトなどの限られたスペースで統一省エネラベルの表示が困難な場合でも、省エネ情報を分かりやすく表示できます。

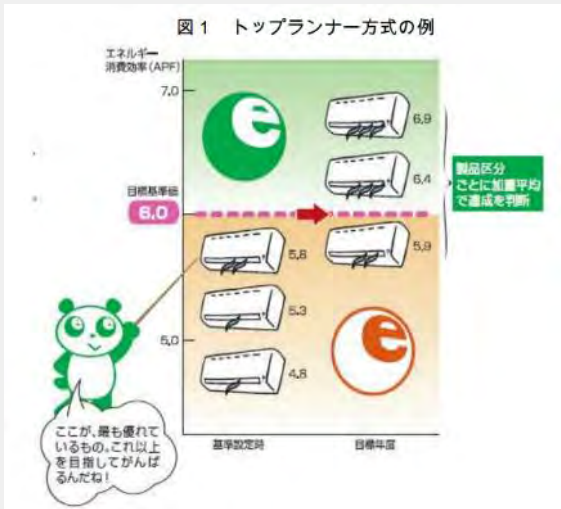
省エネ性能 ★★★★★ 3.8

省エネ性能
★★★★☆ 3.8

省エネ性能
3.8
★★★★☆

ラベルを見やすくするため、文字を減らすなどの工夫を行っています。

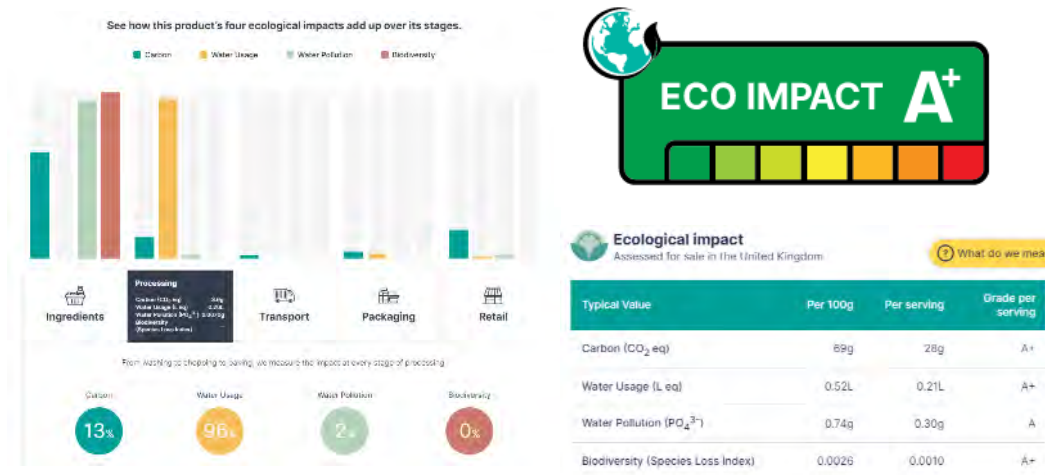
(参考) ラベルの閾値について 統一省エネラベル (2021省エネラベルガイドブック)

基準	自社製品との製品比較サービス
トップランナー基準	カメラdeしんきゅうさん
基準値策定時点において市場に存在する最もエネルギー効率が優れた製品の値をベースとして、今後想定される技術進歩の度合いを効率改善分として加えて基準値とする方式。  図1 トップランナー方式の例 エネルギー消費効率(APEF) 7.0 6.0 5.9 5.8 5.7 5.6 5.5 5.4 5.3 5.2 5.1 5.0 基準設定時 目標年度 製品区分ごとに加重平均で達成を判断 ここが、最も優れているもの、これ以上を目指してがんばるんだね!	家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫)の統一省エネルギーラベルの型番をカメラで撮るだけで、10年前の家電製品との電気代や、消費電力量、CO2排出量の比較が簡単にできます。  比較結果画面 年間電気代 10,150円 年間消費電力量 375kWh オトク!

(参考) 等級的表示に関する欧州動向

Foundation Earth

- 英国の非営利団体であるFoundation earthは、オクスフォード大研究者等のグループの研究成果およびEU環境フットプリントの検討をベースとし、2021年秋にパイロットプロジェクトを開始。
- A +からGの8段階の評価、2022/2/20現在A +からCの97製品が登録。
- CO2排出量、水の使用量、水質汚染、生物多様性という4つの環境影響領域を対象。



出所：Foundation Earth HP:

<https://www.foundation-earth.org/products/wh42/>

フランス環境ラベル実証プロジェクト

- 2014年、フランス環境エネルギー管理庁（ADEME）フランス国立農学研究所（INRAAGRIBALYSE）150の農業製品LCIなどのLCAデータベースAGRIBALYSEを公開（右図）。
- 2020～2021年、フランスでは、EUの環境フットプリントの検討も踏まえて、環境連帯移行省のミッションレターに従いADEMEが食品部門等を対象とした環境ラベルの実証プロジェクトを実施。
- 実証プロジェクトを受けて民間ベースの食材やメニューなどの環境性能の等級表示の方法論（Eco-score）やそれを活用したアプリ等が展開されている。



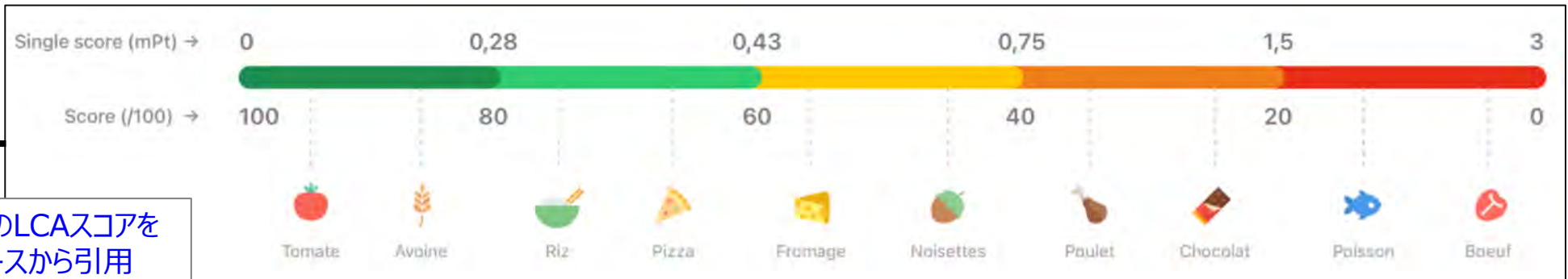
出所：Agribalyse app HP:

https://agribalyse.ademe.fr/app/aliments/7615#Croissant_ordinaire_artisanal

(参考) フランス、食に関するスコアリングの事例

Eco-score

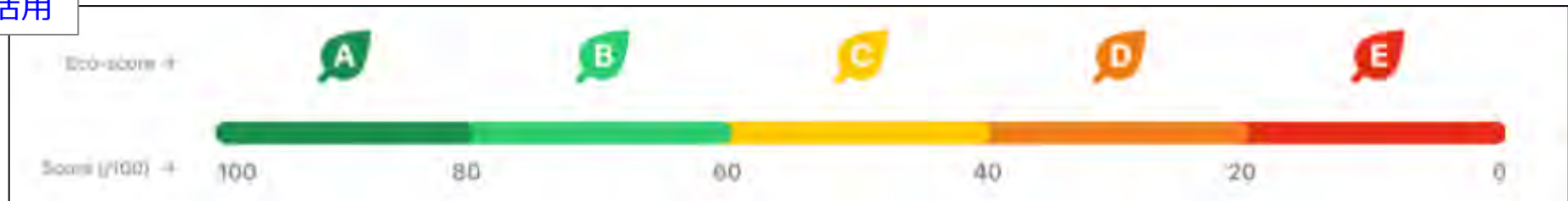
AGRIBALYSE



食材ごとのLCAスコアをデータベースから引用
(同一製品カテゴリ内では同一のLCAスコア)

	インジケータ	内容	ポイント
ベースライン	LCA	16の影響領域の総合得点	0 ~ 100
ボーナススコア	生産システム	環境ラベル (オーガニックなど)	0 ~ +20
	ローカルソーシング	原材料の輸送	0 ~ +15
	環境ポリシー	環境慣行に関連する 生産国	-5 ~ +5
	パッケージの循環性	包装のリサイクル性	-15 ~ 0
	絶滅危惧種	種の生存	-10 ~ 0

ボーナスの各項目は定性的評価を含む。合計得点をEcoscoreとしてアプリで活用



出所：エコスコアHP <https://docs.score-environnemental.com/>

(参考) フランス、食に関するスコアリングの事例 Planet Score

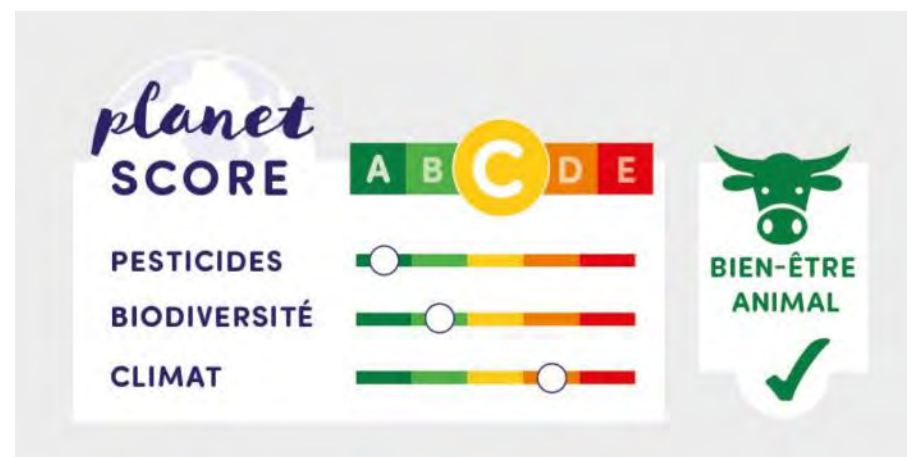
評価方法

- ・ LCAデータベースAGRIBALYSEを利用し商品及び料理メニューを評価。
(食材については生産者固有の努力の反映はしておらず、品目ごとの平均的な値を適用)
- ・ LCAでは評価しきれない部分については「農薬」、「気候」、「生物多様性」、「動物ウェルフェア」を評価し表示

インジケータ	内容
農薬	人間や地球への影響と、食品ごとの値
気候	土壌炭素貯蔵量、温室効果ガス
生物多様性	農業用地の大きさ、農業慣行、生垣の有無
アニマルウェルフェア	飼育方法によって環境に与える影響

評価基準及び条件

- ・ PEF (Product Environmental Footprint) を利用し、フランスのLCAのデータベースを元に分析。
PEF：潜在的環境影響及びエネルギーバランスを生産から廃棄まで計算



出典：

[Planet-Score: New eco-label factors in pesticides, biodiversity and animal welfare \(foodnavigator.com\)](https://foodnavigator.com)

[Planet-score | Taking care of the planet while shopping](https://planet-score.com)

[Planet Score: This is behind the sustainability label \(feriantano.com\)](https://feriantano.com)

取組の方向性

ラベルの運用について

ラベルの運用については、取組の裾野を広げる観点から、自己宣言表示とする。その際、ラベル表示の正当性の確保を行うための手法について検討する。

	検討の進め方	留意点
1	環境表示ガイドライン（環境省）、関連ISO規格を踏まえて課題と対応を整理（注1）	左記文書の要求事項（例：主張の対象として包装を含むか否かを明確にする等）を参照して、本事業で開発を進める運用スキームを検討する
2	既存の定量型環境ラベルプログラムの文書に即して、課題と対応を整理（注2）	ラベルプログラム運営上の知見として左記文書を参照する。
3	簡易算定シートとラベルを含めたスキーム全体の運用についての説明を作成	説明責任の主体について明確にする

（注1）・環境省 環境表示ガイドライン <https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/guideline/>

・ISO14026：2017 フットプリントコミュニケーションの原則・要求事項・ガイドライン

（注2）・SuMPO環境ラベルプログラム <https://ecoleaf-label.jp/>

取組の方向性

ラベルの運用について

来年度の見える化ラベル本格始動に向け、本算定・ラベル表示スキームの一貫した運用のため運用方針を策定しておくことが必要。下記のような方針検討を行うことでよいか。考慮すべき事項に漏れはないか。

農林水産省 算定・ラベル表示の運用スキームの構築イメージ(案)

表示ガイド・簡易算定シート・ラベル表示

方針に従い継続的に改訂

<ラベル表示ガイドの運用方針>

- 内容の改訂

<簡易算定シートの運用方針>

- 搭載係数・DBの更新・拡充
- 搭載標準値の更新・拡充
- 算定方法の更新
- サイトデータ入力ルール更新
- 算定シートの維持管理
- ソフト形態（クラウド化）

<ラベル表示の運用方針>

- 表示方法の改訂
- 閾値の更新
- 有効期間の設定
- 不当表示への対処

<信頼性担保の運用方針>

- 算定ルール（ガイドライン）の開示情報の改訂
- 自己宣言 / 第三者検証

参照文書

- 環境表示ガイドライン(環境省)
- ISO14026(フットプリントコミュニケーション)等

